

平成 24 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

事業名		広報安全対策事業		含まれる事業数	8	所 属	安全環境	部(庁)	原子力安全対策	課(室)	調整	会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
福井新々元気宣言に おける位置付け		<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元気な県土]				事業 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 国 庫 <input type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業 開 始 年 度 S49 年度 経過年数 37 年	事業終了 予定年度 一 年度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	

[事業目的]
原子力発電所の運転に伴う周辺環境の安全対策および原子力の平和利用に関する広報を行う。

[事業内容]
 (1) 原子力広報等の推進
 ① 広報対策事業 (広報誌の発行、イベント開催等)
 ② 福井原子力センター展示館展示品の整備等
 ③ 立地および周辺市町の広報・安全等対策交付金事業
 (2) 安全監視体制の充実強化
 ① 安全研究に関する職員の研修

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移	187,733	258,665	244,121	169,121	168,168	0.2%		
2月現計予算額の推移	195,249	189,143	235,514	165,411	176,406	△ 0.5%		
決算額の推移	193,931	185,968	233,583	164,788		△ 8.0%		
事業効果 の推移								
活動 指標	広報誌発行部数	420,000	400,000	400,000	400,000	200,000	△ 4.8%	III
成果 指標	アトムバス (補助台数)	106	80	95	52		△ 51.0%	IV
	原子力センター来館者数	172,415	142,001	142,018	132,762		△ 24.1%	IV
	アトムバス (利用者数)	3,574	2,643	3,327	1,578		△ 52.7%	IV

計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準 [] / 整備目標 年度 [] = []

区 分	平成24年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予 算 額 (単位：千円)	176,406	平成6年度～サイエンスワールド開催 平成14年度～エネルギー体験ランド(原子力体験展示会)開催 平成14年度～原子力・エネルギー学習環境づくり事業の実施 平成15年度 原子力広報研修施設の改装(展示品の更新) 平成21、22年度 映像ホールシステムの改修	平成15年度において、福井原子力センター展示館を参加体験型主体の展示品構成として全面改装し、16年4月にリニューアルオープンするとともに、施設の運営についても、16年度からは毎日開館体制を本格実施し、来館者の増加に向けた各種対策に取り組んできた。現在、映像ホールシステムの改修(21～22年度:96,600千円)が完了。今後とも来館者の確保及び原子力の正しい知識の普及に向け取り組んでいく。
財源内訳			
	国 庫	168,987	
	その他特定財源		
	一 般 財 源	7,419	

[事業の評価]

所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 原子力の正しい知識の普及啓発には、原子力発電施設の周辺地域への継続的な広報活動が重要であり、原子力センターへの来館やアトムバスの利用など、本事業の実施により着実に効果は上がっているものと考えられる。 [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 福島事故を受け、福島事故の現状や除染状況、県内の原発の安全対策の実施状況、放射線の基礎知識の普及啓発など、県民に分かりやすい広報を積極的に進める。 今後も、より効果的な広報事業のあり方を検討し、事業を行っていく。	評価に基 づく今後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 整 理 統 合 見 直 し 額	<input type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> 終 期 の 見 直 し <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> そ の 他 千 円
-----------	---	-----------------------	--	--	---

平成24年度事務事業カルテ

				所 属		安全環境 部(庁)		原子力安全対策 課(室)		調整 G				
事業名 緊急時安全対策事業(緊急時連絡網整備事業) 含まれる事業数 1 福井新々元気宣言における位置付け <input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元気な県土] <input type="checkbox"/> 無 政策 [原子力の安全・安心と信頼の確保]				事業区分		<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> その他		S56年度 事業開始年度 経過年数 30年		事業終了予定年度 一 年度 事務区分		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		
[事業目的] 原子力発電所に係る事故等の緊急時における防災体制の確立に必要な設備等を整備する。														
[事業内容] 国、県、立地市町等を結ぶ専用電話回線とファクシミリの維持管理														
(単位：千円)														
[予算額および指標の推移等]														
区 分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等				結果分類		
当初予算額の推移		35,752	35,853	33,972	34,388	39,468	2.8%							
2月現計予算額の推移		34,837	34,731	29,903	17,851	26,202	△ 1.9%							
決算額の推移		34,695	34,716	29,903	17,523		△ 55.2%							
事業効果 の推移	活動 指標	連絡網設置機関数		11	11	11	11	17	13.6%					II
	成果 指標	数値目標を設定することが困難なため、特記事項に記載												
	指標													
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準[] / 整備目標 年度 [] = []												
区 分		平成24年度予算額		事業開始後の見直し状況				特 記 事 項						
予 算 額 (単位：千円)		26,202		危機対策・防災課が管理する統合原子力防災ネットワークシステムの専用回線について、緊急時連絡網と統合				万一の原子力災害時には、専用の通信手段の確保が必要であり、迅速で的確な原子力防災対策を実施することができる。						
財源内訳	国 庫		26,202		平成24年度緊急時連絡網6市町追加整備 (福井市、鯖江市、越前町、越前市、池田町、若狭町)									
	その他特定財源													
一 般 財 源														
[事業の評価]														
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 緊急時連絡網の整備にあたっては、原子力発電所の周辺地域にどれだけの設備が整備されているかが重要であり、必要に応じて整備を進める必要がある。					評価に基 づく今後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し					
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 原子力発電施設等の緊急時に、県、国、市町との間の連絡を確保を確実にを行う必要があり、引き続き維持管理を行っていく。						<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了					
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他							
					見直し額	千 円								

平成 24 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

事業名			緊急時安全対策事業 (SPEEDIシステム整備事業)	含まれる事業数	1	所 属	安全環境	部 (庁)	原子力安全対策	課 (室)	調整	会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
福井新々元気宣言に おける位置付け			<input checked="" type="checkbox"/> 有 → ビジョン [元気な県土] <input type="checkbox"/> 無 政 策 [原子力の安全・安心と信頼の確保]		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国 庫 <input type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補 助 金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 S62 年度 経過年数 24 年	事業終了 予定年度 一 年 度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自 治 事 務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		

[事業目的]
 原子力発電所から大量の放射性物質が放出されたり、その恐れがあるという緊急事態に、周辺住民のための防護対策の検討を迅速に進めるために、周辺環境における放射性物質の大気中濃度および被ばく線量当量等を迅速に予測する。

[事業内容]
 災害対策本部 (県庁) および原子力環境監視センターに設置した装置等の維持管理

- ・ 緊急時システム運用
- ・ 中継機 I・II の維持管理
- ・ 平常時におけるデータ通信等

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類	
当初予算額の推移	49,535	43,524	13,107	9,660	7,594	△ 32.4%			
2月現計予算額の推移	42,303	41,487	14,575	9,612	7,594	△ 30.5%			
決算額の推移	41,802	41,189	14,528	9,578		△ 100.3%			
事業効果 の推移	活動 指標	原子力防災訓練等の実施回数	1	1	1	1	0.0%		II
	成果 指標								
	指標							数値目標を設定することが困難なため、特記事項に記載	

計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準 [] / 整備目標 年度 [] = []

区 分	平成24年度予算額	事業開始後の見直し状況	特 記 事 項
予 算 額 (単位：千円)	7,594	平成22年度からSPEEDI平常時運用事業は国が執行(約30,000千円)	万一の原子力災害時には、原子力発電所の周辺住民の安全を確保するために、放射能の拡散を予測し、迅速かつ適切な防災対策が実施できる。
財源内訳	国 庫	7,594	
	その他特定財源		
	一 般 財 源		

[事業の評価]

所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 放射能の影響予測のためのシステム整備であり、原子力防災訓練等において継続して活用し、放射能影響予測の技術をより高めることで、住民の安全・安心の向上を図ることができる。	評価に基 づく今後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 緊急時における放射能の影響予測は、県民の安全・安心を図る上で重要であり、今後も維持管理を行っていく。		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> その他
			見直し額	千 円	

平成 24 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				会計区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()												
事業名		放射線監視事業 (調査費)		含まれる事業数		8		所 属		安全環境 部(庁)		原子力安全対策 課(室)		調整		
福井新々元気宣言における位置付け		<input checked="" type="checkbox"/> 有 → ビジョン [元気な県土 <input type="checkbox"/> 無 政 策 [原子力の安全・安心と信頼の確保]		事業区分		<input checked="" type="checkbox"/> 国 庫 <input type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補 助 金 <input type="checkbox"/> そ の 他		事業開始年度 S49 年度 経過年数 37 年		事業終了 予定年度 一 年 度		事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自 治 事 務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		
[事業目的]																
県や施設設置者の原子力発電所周辺での空間線量の連続監視や原子力発電所周辺に設置した線量計による積算線量の測定および採取した農産物・海産食品・飲料水・指標植物・土壌・海水・土壌・海水・海底土等の放射科学分析の結果により、原子力発電所の周辺の安全等を確認する。																
[事業内容]																
原子力発電所の周辺における放射線量および空気中、水中その他の環境における物質中の放射性物質の濃度変化の状況調査 ・環境放射線監視テレメータシステム運営 ・空間線量調査 ・環境試料の採取および放射性核種の分析																
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)																
区 分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等						結果分類		
当初予算額の推移		222,078	225,475	277,881	227,369	229,583	1.9%									
2月現計予算額の推移		194,362	220,181	265,905	206,191	198,460	2.0%									
決算額の推移		187,652	216,078	205,739	202,309		8.6%									
事業効果 の推移	活動 指標	空間線量測定件数	346	347	356	359	3.7%							II		
	成果 指標	放射能測定件数	757	727	762	1,957	157.6%	H23 年間分析試料727件+福島事故対応 米の分析等1,230件						III		
	成 果 指 標							数値目標を設定することが困難なため、特記事項に記載								
計画の達成状況		[目標名] 年度整備水準[] / 整備目標 年度 [] = []														
区 分		平成24年度予算額				事業開始後の見直し状況				特 記 事 項						
予 算 額 (単位：千円)		198,460								現在、原子力発電所周辺での環境監視は、電力事業者においても行われているが、さらに県が監視し、監視データの評価をすることにより、県民の安全・安心につながる事ができる。 なお現在、監視データは正常値が保たれている。						
財源内訳	国 庫	198,460														
	その他特定財源															
一 般 財 源																
[事業の評価]																
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価]					評価に基 づく今後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し							
	原子力発電所周辺における環境監視のための事業であり、空間線量や放射性核種の分析などについて、適切に調査・分析することで、原子力発電所の周辺住民の安全・安心を図ることができる。						<input type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了							
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容]						<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他							
	原子力発電所周辺の放射線量等の監視を引続き行う。また、測定技術等を向上させ、効率的、効果的に進めるための検討を行っていく。 事業の見直しについては、旅費や消耗品などの事務経費の縮減を図る。						見 直 し 額	△ 2,256 千 円								

平成 24 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

事業名			放射線監視事業（附帯雑費）	含まれる事業数	3	所 属	安全環境	部（庁）	原子力安全対策	課（室）	調整	会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計（ ） <input type="checkbox"/> 企業会計（ ）
福井新々元気宣言における位置付け			<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン〔元気な県土〕 <input type="checkbox"/> 無 政 策〔原子力の安全・安心と信頼の確保〕			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国 庫 <input type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補 助 金 <input type="checkbox"/> そ の 他	事業開始年度 S49 年度 経過年数 37 年	事業終了 予定年度 一 年 度	事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自 治 事 務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	

[事業目的]
 県や施設設置者の原子力発電所周辺での空間線量の連続監視や原子力発電所周辺に設置した線量計による積算線量の測定および採取した農産物・海産食品・飲料水・指標植物・土壌・海水・海底土等の放射科学分析の結果により、原子力発電所の周辺の安全等を確認する。

[事業内容]
 原子力発電施設等の周辺における放射線量および空気中、水中その他の環境における物質中の放射性物質の濃度変化の状況調査をするための放射線監視設備等の整備

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類
当初予算額の推移	196,208	453,075	601,555	54,379	599,414	268.8%		
2月現計予算額の推移	184,802	260,825	376,693	863,391	453,113	41.8%		
決算額の推移	184,802	260,825	229,208	72,660		△ 13.1%		
事業効果 の推移	活動 指標 空間線量測定件数	346	347	356	359	1.2%		II
	成果 指標 放射能測定件数	757	727	762	1,957	52.5%	H23 年間分析試料727件+福島事故対応 米の分析等1,230件 数値目標を設定することが困難なため、特記事項に記載	III

計画の達成状況 [目標名] 年度整備水準〔 〕 / 整備目標 年度〔 〕 = 〔 〕

区 分	平成24年度予算額	事業開始後の見直し状況	特記事項
予 算 額 (単位：千円)	453,113	平成23年9月補正県モニタリングポスト5局新規設置(一般) 平成23年2月補正国の4次補正に伴いモニタリングポスト21局増設(国庫)	平成19年度環境放射線監視テレメータシステム更新(512,400千円) 平成23年度2月補正モニタリングポスト21局増設
財源内訳	国 庫	348,612	
	その他特定財源	6	
	一 般 財 源	104,495	

[事業の評価]

所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 原子力発電所周辺における環境監視のための監視設備等の整備であり、空間線量や放射性核種の分析などを適切に調査・分析するために必要な事業である。	評価に基 づく今後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 原子力発電施設等の周辺における放射線量および環境試料の分析を行う機器の整備や更新を計画的に行っていく。また、福島事故を踏まえ、引き続きモニタリングポストの耐震化等必要な対策を行っていく。 事業の見直しについては、事業完了に伴う、備品整備費の減額および旅費等の事務経費の削減		<input type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見 直 し 額	△ 231,534 千 円	

平成 24 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

				会計区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()							
事業名		原子力環境監視センター運営事業	含まれる事業数	3	所 属	安全環境 部(庁)	原子力安全対策 課(室)	調整		G	
福井新々元気宣言における位置付け		<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元気な県土] <input type="checkbox"/> 無 政 策 [原子力の安全・安心と信頼の確保]		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国 庫 <input type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補 助 金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H7 年度 経過年数 17 年	事業終了 予定年度 一 年 度	事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自 治 事 務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		
[事業目的]											
原子力環境監視センターを運営する。											
[事業内容]											
原子力環境監視センターの運営・管理 ・原子力施設等放射能調査機関連絡協議会への参加 ・研修・講習会への参加 ・試験研究等評価事業の実施											
[予算額および指標の推移等] (単位：千円)											
区 分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等		結果分類	
当初予算額の推移		21,061	17,575	15,139	16,575	17,328	△ 4.1%				
2月現計予算額の推移		21,061	16,664	10,625	19,744	16,322	2.9%				
決算額の推移		20,706	16,209	10,522	19,693		7.6%				
事業効果 の推移	活動 指標	空間線量測定件数	346	347	356	359	0.9%			II	
	成果 指標	放射能測定件数	757	727	762	1,957	39.4%	H23 年間分析試料727件+福島事故対応 米の分析等1,230件 数値目標を設定することが困難なため、特記事項に記載		III	
計画の達成状況		[目標名]	年度整備水準[] / 整備目標				年度 [] = []				
区 分		平成24年度予算額	事業開始後の見直し状況				特 記 事 項				
予 算 額 (単位：千円)		16,322					現在、原子力発電所周辺での環境監視は、電力事業者においても行われているが、さらに県が監視し、監視データの評価をすることにより、県民の安全・安心につながる事ができる。 なお現在、監視データは正常値が保たれている。				
財源内訳	国 庫	13,334									
	その他特定財源	347									
	一 般 財 源	2,641									
[事業の評価]											
所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 原子力発電所周辺における環境監視を適切に実施するための原子力環境監視センターの運営費であり、適切な調査・分析を行ううえでも必要な事業である。 [今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 放射線等の監視施設の運営管理を着実にやっていく。 事業の見直しについては、旅費などの事務経費の縮減を図る。					評価に基 づく今後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮 減 <input type="checkbox"/> 終期の見直し	<input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 完 了 <input type="checkbox"/> 整 理 統 合 <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> そ の 他			
							見直し額	△ 770 千 円			

平成 24 年 度 事 務 事 業 カ ル テ

事業名		放射能測定調査事業		含まれる事業数	1	所 属	安全環境 部(庁)		原子力安全対策 課(室)		調整		会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()		
福井新々元気宣言における位置付け		<input checked="" type="checkbox"/> 有 →ビジョン [元気な県土 <input type="checkbox"/> 無 政 策 [原子力の安全・安心と信頼の確保]				事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国 庫 <input type="checkbox"/> 県 単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補 助 金 <input type="checkbox"/> そ の 他	事業開始年度	S32 年度 経過年数 54 年	事業終了 予定年度	一 年 度	事務区分	<input type="checkbox"/> 自 治 事 務 <input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務		

[事業目的]
 放射性降下物等による環境放射能が、原子力発電所からの影響によるものか否かの評価に際して、広範囲な地域（隣接県含む）での水準の把握が必要となるため、文部科学省からの委託にもとづき、降下物等の放射能を測定する。

[事業内容]
 1 全ベータ放射能測定調査
 2 核種分析調査（浮遊じん、土壌、上水道）
 3 放射性ヨウ素の分析
 4 空間線量率測定
 ①サーベイメータによる空間線量率調査
 ②モニタリングポストによる空間線量率調査

[予算額および指標の推移等] (単位：千円)

区 分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	平均伸び率	目標値、指標の積算根拠等	結果分類		
当初予算額の推移	11,575	1,757	1,550	2,386	5,405	21.0%				
2月現計予算額の推移	7,897	1,163	1,550	81,924	4,346	1,259.7%				
決算額の推移	7,897	1,163	1,550	81,924		1,711.1%				
事業効果 の推移	活動 指標	空間線量測定件数	12	12	12	12	132	250.0%	H23 モニタリングポスト11箇所×12ヶ月	II
	成果 指標	放射能測定件数	138	128	157	135		0.4%		III
計画の達成状況	[目標名] 年度整備水準[] / 整備目標 年度 [] = []									

区 分	平成24年度予算額	事業開始後の見直し状況	特 記 事 項
予 算 額 (単位：千円)	4,346	平成21年度～ 委託内容の変更(調査項目、測定数の減) 平成23年度～ モニタリングポスト10箇所増設	全国一律に測定することで、原子力発電所に起因するものか、その他の核実験等に起因するものを判断できる。 平成20年度に放射線測定装置(モニタリングポスト)の整備が完了 平成23年9月補正において、国の2次補正に伴い放射線測定装置(モニタリングポスト)10局増設
財源内訳	国 庫	4,341	
	その他特定財源	5	
一 般 財 源			

[事業の評価]

所属の 方針	[活動指標、成果指標に対する評価] 原子力発電所周辺における環境放射能の測定値が、原子力発電所からの影響か否かを判断するための調査であり、継続して調査を実施することにより、適切な判断材料を得ることができる。	評価に基 づく今後 の 対 応	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input type="checkbox"/> 縮 減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し
	[今後の事業展開に関する考え方、見直し内容] 平常時における放射線監視データの蓄積を行うことは重要であり、今後も継続して実施する。		<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	<input type="checkbox"/> 休 止	<input type="checkbox"/> 完 了
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃 止	<input type="checkbox"/> そ の 他
			見直し額	千 円	